

埼玉医科大学 乳腺腫瘍科

開設 20 周年記念感謝の集い

佐伯俊昭教授 定年退職祝いの会 報告

令和 6(2024)年 11 月 23 日、川越プリンスホテルにて埼玉医科大学乳腺腫瘍科「開設 20 周年記念感謝の集い」ならびに「佐伯俊昭教授 定年退職祝いの会」が開催されました。本会は、乳腺腫瘍科の 20 年の歩みを振り返るとともに、発展を支えてくださった皆様へ感謝を伝えるために企画しました。また、長年にわたり診療・研究・教育に尽力された佐伯俊昭教授の定年退職を祝う場として、多くのご来賓や関係者の皆様にご出席いただきました。

開会の挨拶は埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科 大崎昭彦教授が務め、続いて丸木清之理事長、別所正美副理事長、山内俊雄名誉学長、小山勇国際医療センター名誉病院長、光山昌珠北九州市立医療センター参与より、乳腺腫瘍科の発展と佐伯教授の功績について温かい祝辞をいただきました。

乾杯のご発声は鳥山医院 名誉院長の木村盛彦先生にお願いし、その後、歓談が行われました。歓談中には、私、松浦一生がご出席の皆様へ、現在の医員達を紹介しました。乳腺腫瘍科の若手医師達は、今後の発展を担う決意を新たにしました。

来賓の先生方からさらに祝辞を賜り、篠塚望病院長(埼玉医科大学病院)、別宮好文病院長(総合医療センター)、田部井敏夫診療顧問(上尾中央病院乳腺外科)、佐野宗明先生(元新潟県立がんセンター外科)、西村令喜院長(さがら病院宮崎)、戸井雅和院長(都立駒込病院)から、それぞれの視点で佐伯教授の功績が語られました。花束贈呈の後、佐伯教授から謝辞として、乳腺腫瘍科の発展を支えてくださった皆様への感謝と、今後のさらなる発展への期待が語られました。なお、佐伯教授は、乳腺腫瘍科は定年退職となりましたが、引き続き埼玉医科大学国際医療センター病院長として埼玉医科大学に尽力されます。

最後に、埼玉医科大学総合医療センター ブレストケア科北條隆教授の閉会の挨拶をもって、本会は盛会のうちに終了しました。また、本会の準備・運営に協力された藤内伸子乳腺腫瘍科同門会長に深く感謝申し上げます。

文責:松浦 一生